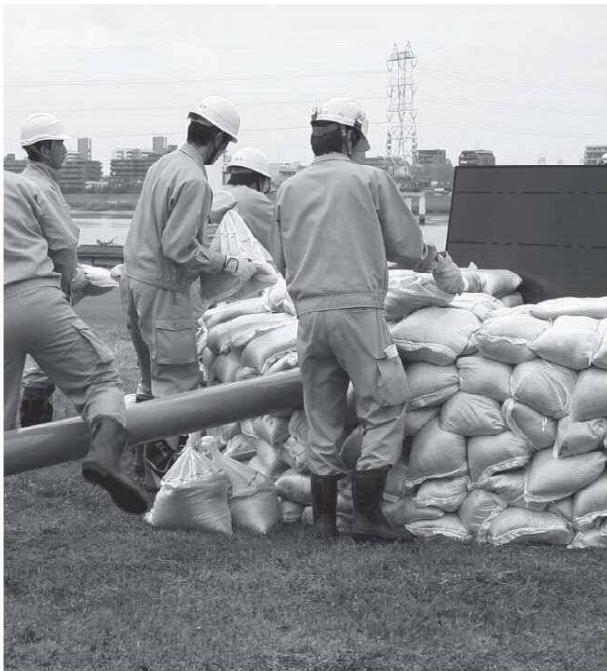


特集：多摩川の水防

その3

そのとき、私たちにできること…



消防団の水防訓練＝水防センター前で

多摩川の水防について、大師河原河川防災ステーションを例に出して行政の取り組みを紹介してきました。それでは実際に災害や被害が起こったとき、私たち市民には何ができるのでしょうか。

当たり前のことですが、訓練を受けていなければ、実際に水防活動を行うことができず、洪水が起つている現場へ行つても何の役にも立ちません。むしろ足手まといになりますので、物見遊山で河川に近づくの

ひがたかんタイムズ

2009年9月1日発行
<第6号>
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉茂

はやめましょう。その場合は情報を冷静に把握し、行政の指示に従つて速やかに指定の場所に避難することが最善策です。情報を把握するという意味で何よりも大切なことは、日々から川と地域に関心を持ち、防災意識を高めることです。これは水害に限つたことではなく、地震等すべての災害に共通しています。

地域に古くから住む人や災害の体験者に話を聞いて勉強したり、家族で避難場所を確認する。また、水防訓練に参加してその働きを体験する。地域の消防団（水防団）へ入団して水防訓練を受け、技術を身につけるのもいいでしょう。京浜河川事務所の携帯端末用ホームページであるケイヒンモバイル (<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m/>) からは、水位や雨量の情報、河川浸水情報の配信をリアルタイムで受け取ることができます。このように、個人はもとより、町全体での情報共有と連携がいざというときに役立ちます。そして、市民と行政のパートナーシップをより強固なものとし、それぞれの役割を果たすことが、私たちの地域や生活、生命を守る上で重要なことです。（おわり）

ひがたかんタイムズ 第6回 バン 文・写真 佐川麻理子

A black and white photograph showing a close-up of a bird's nest being built on a reed bed at a wetland. A bird is perched on the nest, which is made of twigs and mud. The background shows more reeds and water.

やや褐色がかつた黒い羽に覆われたハトより大きめな体。するどい爪をもつた黄色い足。鮮やかな赤色のおでこ。先が黄色いくちばし。バンはほぼ一年を通して、多摩川河口で見ることができます。クイナの仲間の彼らは水陸両用。潮が引いた干潟の泥の上では長い足をつかって歩き回り、満潮になつた水面の上でも首を前後に振つて自在に泳ぎます。夏を中心とした季節は、多摩川河口でも彼らの繁殖期。ペアができると協力してイグサなどの草を集め、巣作りがはじまります。しかし、川の増水などによってせつかく作つた巣が流されてしまうこともあります。そんな中で誕生したヒナは、はじめは親鳥をそのまま小さくしたよ

うな、とても愛らしいすがたです。やがて若鳥となるとヒナの羽色は一旦、明るい茶色に変わります。そして、そのころになるとあんなに優しかった親鳥の態度が一変。若鳥を威嚇して自分たちから遠ざけようとするこども。しかし、さらに成長して親鳥と同じような色になるころには、彼らも立派な干潟の一員となることでしょう。

★イシガレイが大きくなつたよ

5月に採捕した干潟館水槽のイシガレイが大きくなりました。元気な姿をみなさん見に来てください。

★東扇島東公園で防災訓練

八都県市合同防災訓練が9月1日防災の日に東扇島東公園で行われました。これは川崎直下の大地震を想定し、自衛隊、警察、消防、市民ら一万人が参加したもので、東扇島から多摩川の大師河原河川防災ステーションにある緊急船着場へ救援物資を輸送する訓練も行われました。

- 地震や台風大・雨に備えましょう。
- 避難場所の確認、非常持ち出し袋や備蓄品を点検しましょう。

9月は防災月間です

- 地震や台風大・雨に備えましょう。
- 避難場所の確認、非常持ち出し袋や備蓄品を点検しましょう。

- 見学地／日野市多摩川河川敷
- 参加費／200円（保険料など）
- 持ち物／昼食、飲物、軍手、雨具、タオル、動きやすい服装・靴
- 申し込み方法／氏名、連絡先（住所・電話・ファックス・電子メール）、所属（あれば）を明記し、事務局までお送り下さい。
- 申し込み期限／9月28日（月）※但し、定員50名になり次第締め切ります。
- 小雨時はプログラムを変更する場合もあります。

○主催／多摩川流域懇談会

- 人多摩川工コミュニージアム

☎ 044 (622) 1025

メール npo@seseragikan.com

★第32回多摩川流域セミナー「見てみよう！歩いてみよう！⑧空間」

多摩川には貴重な生態系を保ち、自然を守る地域「生態系保持空間（通称・⑧空間）」があるのを存じですか？ 今回の多摩川流域セミナーは、この「⑧空間」のひとつである日野市の多摩川河川敷を歩きます。

- 日時／10月3日（土）9時～14時
- 集合場所／多摩都市モノレール「万願寺駅」（9時30分）

○見学地／日野市多摩川河川敷

- 参考料／200円（保険料など）
- 持ち物／昼食、飲物、軍手、雨具、タオル、動きやすい服装・靴
- 申し込み方法／氏名、連絡先（住所・電話・ファックス・電子メール）、所属（あれば）を明記し、事務局までお送り下さい。
- 申し込み期限／9月28日（月）※但し、定員50名になり次第締め切ります。
- 小雨時はプログラムを変更する場合もあります。

※干潟観察会の参加費（保険代含む）は、大人200円、中学生以下100円です。各回定員25名となりますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

入館無料
生きものカードプレゼント中！

大師河原干潟館イベント情報

9月12日（土）エコクラフト教室

場所／干潟館 時間／開館中

9月19日（土）干潟観察会

場所／干潟館 時間／10時～12時

10月3日（土）エコクラフト教室

場所／干潟館 時間／開館中

10月17日（土）干潟観察会

場所／干潟館 時間／10時～12時

※エコクラフト教室は参加費無料。

※干潟観察会の参加費（保険代含む）は、大人200円、中学生以下100円です。各回定員25名となりますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要となります。

※干潟に下りる場合は、サンダル・素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

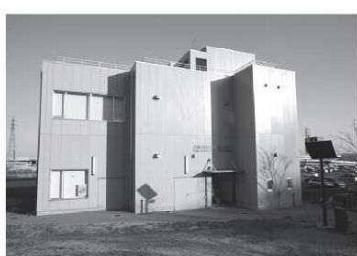
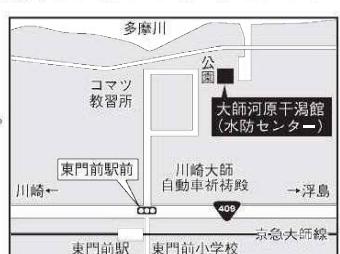
※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

※イブントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

ひがた 大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原地区河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／水・土・日・祝日 午前10時～午後4時
- ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15
- ※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



- ◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原干潟館
Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

- ◆お問い合わせ（平日）／川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課

Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-3923 Email: 30tamasu@city.kawasaki.jp



採取されたホンビノスガイ（殻長約8cm）＝殿町干潟で

ホンビノスガイ を知っていますか？

ひがたかんタイムズ

2009年11月1日発行
<第7号>
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉茂

このところの多摩川河口干潟でも数多く見られるようになったホンビノスガイをご存じでしょうか。マルスダレガイ科の二枚貝であるホンビノスガイ（学名 *Mercenaria mercanaria*）は北アメリカ原産の外来生物で、大きなものは10cm以上になる殻の厚い貝です。東京湾では1990年代に船舶のバラスト水に混入した幼生が定着したと見られており、近年爆発的な増殖を見せていました。アメリカではクラムチャウダーの材料等食用とされ、実際に美味であることから、日本でも「白ハ

マグリ」や「大アサリ」の名で販売されました。しかし、JAS法（農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律）による食品表示基準から標準和名が用いられるようになつたこともあり、今では本来の「ホンビノスガイ」という名称でスーパーにも並んでいます。東京湾にすっかり定着し、水産資源にもなつていてホンビノスガイは、こうして多摩川河口でも観察できるようになったのです。川崎側のサイクリングロード終点にある水位観測所下の干潟は環境的には海洋になつたホンビノスガイを存続させるべきです。マルスダレガイ科の二枚貝であるホンビノスガイ（学名 *Mercenaria mercanaria*）は北アメリカ原産の外来生物で、大きなものは10cm以上になる殻の厚い貝です。東京湾では1990年代に船舶のバラスト水に混入した幼生が定着したと見られており、近年爆発的な増殖を見せていました。アメリカではクラムチャウダーの材料等食用とされ、実際に美味であることから、日本でも「白ハ

マグリ」や「大アサリ」の名で販売されました。しかし、JAS法（農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律）による食品表示基準から標準和名が用いられるようになつたこともあり、今では本来の「ホンビノスガイ」という名称でスーパーにも並んでいます。東京湾にすっかり定着し、水産資源にもなつていてホンビノスガイは、こうして多摩川河口でも観察できるようになりました。川崎側のサイクリングロード終点にある水位観測所下の干潟は環境的には海洋になつたホンビノスガイを存続させるべきです。マルスダレガイ科の二枚貝であるホンビノスガイ（学名 *Mercenaria mercanaria*）は北アメリカ原産の外来生物で、大きなものは10cm以上になる殻の厚い貝です。東京湾では1990年代に船舶のバラスト水に混入した幼生が定着したと見られており、近年爆発的な増殖を見せていました。アメリカではクラムチャウダーの材料等食用とされ、実際に美味であることから、日本でも「白ハ

マグリ」や「大アサリ」の名で販売されました。しかし、JAS法（農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律）による食品表示基準から標準和名が用いられるようになつたこともあり、今では本来の「ホンビノスガイ」という名称でスーパーにも並んでいます。東京湾にすっかり定着し、水産資源にもなつていてホンビノスガイは、こうして多摩川河口でも観察できるようになりました。川崎側のサイクリングロード終点にある水位観測所下の干潟は環境的には海洋になつたホンビノスガイを存続させるべきです。マルスダレガイ科の二枚貝であるホンビノスガイ（学名 *Mercenaria mercanaria*）は北アメリカ原産の外来生物で、大きなものは10cm以上になる殻の厚い貝です。東京湾では1990年代に船舶のバラスト水に混入した幼生が定着したと見られており、近年爆発的な増殖を見せていました。アメリカではクラムチャウダーの材料等食用とされ、実際に美味であることから、日本でも「白ハ

第7回 セイタカシギ

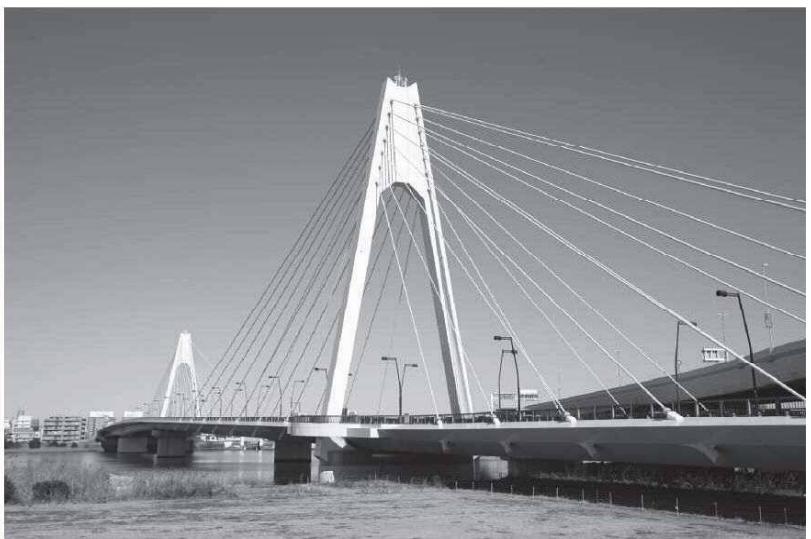
文・写真 佐川麻理子

千潟のゆかいな仲間たち



千潟を歩き回るのに最適な細く長い、そしてピンク色の足。千潟に数多くいるシギやチドリの仲間でも、セイタカシギはすぐに見分けられる美しい体色をしています。

千潟に数多くいるシギやチドリの仲間でも、セイタカシギはすぐに見分けられる美しい体色をしています。千潟の六郷千潟で、特に大田区側の六郷千潟に多く見られ、主に秋から冬にかけて、多い時には2羽近い群れをつくることがあります。千潟に潮が満ちて来て、水深ができる浅場が少なくなると、時にはグランドの間際のテトラポットの上に上がり、すぐそばで彼らの様子を見ることがあります。晴れた日の夕方、美しい羽色に夕日が当たり、ややオレンジ色に染め上げられた彼ら



ひがたかんタイムズ

うるわ 麗しの大師橋

クリスマスと年末年始にライトアップされた大師橋の姿をご覧になりましたか？ 川崎市と東京都大田区を結ぶ大師橋は、全長五五〇m、最高部が五〇mある、川崎市が管理する中では最大の橋となつており、産業道路として多くの車や人々が行き交っています。昼間はその白く美しい形態を多摩川の水面に映し出していますが、夜になると周囲も真っ暗になり、航空障害灯が点滅するだけなので少々寂しげ。今回で十三回目となるライトアップによるその姿は普段とは異なり、あたかも闇夜に光線を放つ白いオブジェのような美しさでした。

2010年1月15日発行
<第8号>
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉茂

一九三九年（昭和十四年）に完成した大師橋は、三角形の骨組みを組んだゲルバー式トラス橋としては東洋一の美しさと称されました。しかし、時代の流れと共に狭さによる交通渋滞や老朽化が問題となつたため、一九九一年（平成三年）から十六年の歳月を費やし、二〇〇六年（平成十八年）にケーブルで橋桁を吊り下げた斜張橋として現在の姿に生まれ変わったのです。

旧大師橋の面影は現在も川崎側の橋のたもとにある公園内に残されています。当時の親柱が一基保存されており、その歴史を解説した「今昔横羽線多摩川橋梁から京王相模原線大師橋」と、大師橋の隣にある高速鉄道橋まで一一基の橋を紹介した「多摩川下流域の橋をめぐる」という案内板が設置され、ちょっととした憩いの場にもなっています。ちなみに、旧大師橋が開通するまで、この近辺では「羽田の渡し」と「大師の渡し」が交通手段として人々に利用されていました。羽田の渡し跡碑は大師橋下流に、大師の渡し跡碑は大師河原干潟館の少し上流に建てられていますので、散策がてら探してみてはいかがでしょうか。

ひがたかんタイムズ 第8回 マガモ 文・写真 佐川麻理子

干潟のゆかいな仲間たち

この多摩川河口にも冬になると、いくつかの小さな群れがやってきます。体長は六〇cmほど。オスは黄色いくちばしに、鮮やかな光沢のある緑色の頭。からお尻にかけて黒い羽根が混ざります。メスは全体が茶褐色の羽色で、黒色が混ざったオレンジ色のくちばし。仲良く入り混ざって、水面を浮かんでいる姿が見られます。潮が引いた干潟の上では、美しい羽根をどろんこにして、お尻を上げて泥の中に頭を突っ込み、大好きな主な工サとなる水草などを探しています。最近の多摩川河口では、六郷水門下流の干潟で彼らと出会うことができ





他の鳥たちの群れと混ざって、川の中や干潟を行き来する様子が身近に見られます。

★新水槽登場！

大師河原干潟館に新しい水槽がやってきました＝写真。全長三mあるこの水槽は、前面のアクリル部分がり字型に切れ込んだものです。現在ある二本の水槽とは異なり、飛び跳ねてしまうような元気な魚を飼育することが難しいため、カニやエビ、シジミなどを入れ、タッチプールのような感覚で来館者のみなさん

に多摩川の生きものと触れ合つてい

ただけるよう準備を行っている最中です。順次生きものを追加していく

ますのでお楽しみに。

★写真展・思いでの二ヶ領用水

二ヶ領用水は川崎を育んだ「いのちの水」といわれてきました。きたる二〇一一年には、竣工四百年を迎えます。農業用水、生活用水だった昔の姿を残された写真で偲びます。

○問い合わせ/NPO法人多摩川工芸ミュージアム
TEL 044(922) 1025
MAIL npo@seseragikan.com

○参加費／無料（申込不要）
○主催／川崎市、NPO法人多摩川工芸ミュージアム

○日時／2月20日（土）13時～16時
○会場／高津市民館大会議室（JR武蔵溝ノ口駅北口、ノクティプラザ2・12階）

○問い合わせ／川崎市、NPO法人多摩川工芸ミュージアム
TEL 044(200) 2268
MAIL 30tamasu@city.kawasaki.jp

ジウム「多摩川の風景いま・むかし」が2月20日（土）に高津市民館で開催されます。本年度のテーマは「多摩川の景観」。木村尚さん（NPO法人海辺づくり研究会）の基調講演、表などの他、昨年公募した「フォトコンテスト「私の多摩川」の作品展示と授賞式も行われますのでみなさんは是非ご参加下さい。

ます。ユリカモメやオオバンなど、

他の鳥たちの群れと混ざって、川の中や干潟を行き来する様子が身近に見られます。

★多摩川博開催のお知らせ

かわさき多摩川博2009シンポジウム「多摩川の風景いま・むかし」

（JR川崎駅東口、タワーリバーアク）

○入場／無料

○主催／川崎区誌研究会、川崎市立図書館、川崎市文化財団

○問い合わせ／川崎市立図書館

○会場／アートガーデンかわさき（JR川崎駅東口、タワーリバーアク）

○期間／1月26日（火）～31日（日）

○時間／午前10時～午後3時

TEL 044(200) 7011

大師河原干潟館イベント情報

2月16日（土）工コクラフト教室

場所／干潟館 時間／開館中

※工コクラフト教室は参加費無料。

※一月と二月の干潟観察会はお休みします。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

○問い合わせ・申込先

川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課

TEL 044(200) 2268

大師河原干潟館（水・土・日・祝）

TEL 044(287) 7882

干潟館広報
火災に注意！

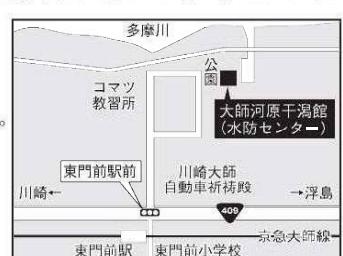
- 河川敷での直火使用は禁止です。
- 葦原附近でのタバコの吸がらの投げ捨て、焚き火・火遊びはやめましょう。



ひがた 大師河原干潟館（大師河原水防センター）

大師河原干潟館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原地区河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／水・土・日・祝日 午前10時～午後3時
- ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15
- ※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。

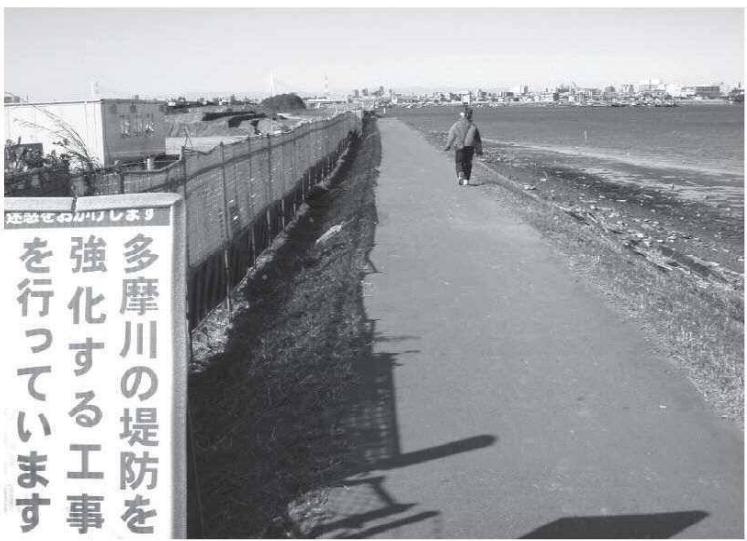


- ◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原干潟館
Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

- ◆お問い合わせ（平日）／川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課
Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-3923 Email: 30tamasu@city.kawasaki.jp

入館無料

生きものカードプレゼント中！



多摩川の堤防を
強化する工事
を行っています

多摩川は都市河川の中でも勾配が急なため、昭和四九年に起きた柏江水害のように、堤防が壊れると大きな被害が発生します。そのため治水事業が行われてきましたが、計画水量を上回るような洪水が発生した場合はどうしましょう？ それに備えたため、更なる強化を図ったのがスーパー堤防の整備です。

今回は国土交通省により整備が進められているスーパー堤防（高規格堤防）についてのお話しをします。

大師河原干潟館が建つ大師河原河川防災ステーションは、スーパー堤防の上に整備されています。普通の堤防と違い、何がスーパーなの？

スーパー堤防って何だろ？

整備中の殿町第一地区高規格堤防＝川崎区殿町で

ひがたかんタイムズ

2010年3月1日発行
< 第9号 >
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉茂

幅の狭い堤防は、計画水位を超えた洪水時の越水・浸透により堤防が壊れたとき、人々が生活するまちに大きな被害をもたらす恐れがあります。また、大地震が起きた場合も、軟弱な地盤では堤防が壊れ、同様の被害が起きることが予想されます。スーパー堤防は、このような災害が起こっても壊滅的な被害とならぬよう、必要に応じて地盤改良を行い、ゆるやかな傾斜を付けた幅の広い堤防のことです。ゆるやかな傾斜の基準は三十分の一（三%の勾配）、現在ある堤防の高さの三十倍程度の区域が盛り土の対象となるため、広い範囲を整備する必要があります。そのため、地域住民との合意や地域のまちづくりと一体となって行わなければなりません。このような大きな事業なので、時間もかかります。

大師河原地区の場合は、首都高速横羽線と川崎縦貫道路のジャンクションの建設、大師河原防災ステーションの整備、工場跡地のマンション建設などに併せて事業が実施されました。千潟館に遊びに来たみなさまやお隣のマンションに住んでいるみなさんの足下、それ即ちスーパー堤防なのです。

多摩川の堤防を強化する工事を行っています

多摩川は都市河川の中でも勾配が急なため、昭和四九年に起きた柏江水害のように、堤防が壊れると大きな被害が発生します。そのため治水事業が行われてきましたが、計画水量を上回るような洪水が発生した場合はどうしましょう？ それに備えたため、更なる強化を図ったのがスーパー堤防の整備です。



第9回 チュウヒ

文・写真 佐川麻理子

干潟のゆかいな仲間たち



多摩川の河口から六郷橋にかけて広がるアシハラ。秋から冬にかけてこのアシハラの上を低く水平

に飛ぶワシやタカの仲間、猛禽がいます。それがチュウヒ。アシハラの中にひそむノネズミなどの小動物をさがしています。その飛び方は上空からえものをめがけてまっしぐらに捕える他のワシやタカとちがい、軽やかでどこか優雅なようです。ゆったりと低空を滑空するチュウヒを目で追っていると、とつぜんふあつと垂直にアシハラの中へ消えていきます。えものを見つけたのか、捕えそこねたのか。しばらくするとまた、アシハラの上を低く飛んでいます。

オスは体長四八cm、メスは五八cmほど。春になるといつの間にか多摩川

河口周辺ではあまり見られなくなりますが、繁殖地は国内でも「」限り絶滅危惧種に指定されています。少なくなりってしまった背景には、彼らが好んでエサとする小動物がくらいす広いアシハラが、河原や河口から減つてしまつたからかもしれません。

★大水槽に生きものがはいつたよ！

一月から動き出した、千鶴館の大水槽に続々と生きものが仲間入りしています。スジエビやテナガエビ、ケフサイソガニ、ヤマトシジミ、マガキなど、多摩川河口にすむ生きもののを目の前で観察してみよう。

★一ヶ領用水歴史ばなし

一ヶ領用水竣工四百年プロジェクトの一環として、文化講演会・一ヶ領用水歴史ばなしが開催されます。お話しは、長島保氏（地域史研究家、同プロジェクト代表）です。

○口時／3月24日（水）18時～20時

○会場／中原市民館多目的ホール

○参加費／無料（先着順、当日受付）

○主催／中原区文化協会

○共催／一ヶ領用水竣工400年プロジェクト、一ヶ領用水・中原桃の会、NPO法人さえの会

- ◎後援／川崎市、川崎市教育委員会
- ◎問い合わせ／NPO法人さえの会事務局（木村）
- ☎ 090-(1010) 010300
- メール ongaku-npo.saenokai-0541@r2.dion.ne.jp

★第6回多摩川桜のコンサート

かわさき多摩川博2010第6回多摩川桜のコンサートが開催されます。出演は、ブレイクダンスの世界

チャンピオン・A.L.L AREA、川崎の歌姫・桜井澄恵、稻田中学校チアダンス部です。一ヶ領用水の桜

並木を背景に、世代を超えた音楽で春の一日を満喫しましょう。

○日時／4月3日（土）13時～16時

○会場／一ヶ領せせらぎ館前

○参加費／無料（申込不要）

○主催／川崎市、NPO法人多摩川工芸ミュージアム

○問い合わせ／NPO法人多摩川工芸ミュージアム

メール npo@seseragikan.com

千鶴館広報

一ヶ領用水歴史ばなし

●自然観察は譲り合いの心が大切です。
●人や自然に気を配り、ゴミは必ず持ち帰りましょう。

大師河原千鶴館イベント情報

3月13日（土）エコクラフト教室

自然の材料で凧（たこ）をつくり！

場所／千鶴館 時間／開館中

4月10日（土）エコクラフト教室

場所／千鶴館 時間／開館中

4月24日（土）千鶴観察会

何種類の生きものがみつかるかな？

※エコクラフト教室は参加費無料。

※千鶴観察会の参加費（保険代含む）は、大人200円、中学生以下100円です。各回定員25名となりますので、参加希望の方は事前に

お申し込みが必要となります。

※千鶴に下りる場合は、サンダル・

素足は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間変更することがあります。

止したり、内容・時間変更することがあります。

◆問い合わせ・申込先

川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課
☎ 044(200) 22668

大師河原千鶴館（水・土・日・祝）
☎ 044(287) 7882

○開館時間変更のお知らせ
四月から午後4時閉館となります。



ひがた 大師河原千鶴館（大師河原水防センター）

大師河原千鶴館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原地区河川防災ステーション内にある大師河原水防センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／水・土・日・祝日 午前10時～午後3時
- ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15
- ※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい。



- ◆お問い合わせ（水・土・日・祝）／大師河原千鶴館
Tel: 044-287-7882 Fax: 044-287-7883

- ◆お問い合わせ（平日）／川崎市環境局緑政部多摩川施策推進課
Tel: 044-200-2268 Fax: 044-200-3923 Email: 30tamasu@city.kawasaki.jp

入館無料

生きものカードプレゼント中！

ひがたかんタイレーズ

2010年5月1日発行
<第10号>
大師河原干潟館運営委員会
発行人／小泉茂

水辺の楽校へ行こう！

川崎市で三校目の「水辺の楽校」となる「だいし水辺の楽校（仮称）」が本年度の開校に向けて準備を進めています。さて、水辺の楽校とはどんな『がっこう』なのでしょう？



とどろき水辺の楽校の授業風景（中原区等々力）

水辺の楽校（子どもの水辺）とは、全国各地域において、水辺を活用した体験学習や環境学習等の活動を行っている市民団体、行政、教育関係者などが連携して「子どもの水辺協議会」を立ち上げ、「子どもたちの遊び、遊び、体験活動の場としての利用に適した水辺である」「全教育の実施や川の構造上等から、子どもたちが安全に遊べる体制になっている」「子どもたちの水辺での活動をサポートする団体等が存在し、利用促進の体制が整えられている」という三つの観点から登録された水辺のことです。

これに登録すると、子どもたちが身近で遊べることできる水辺が増え、また、行政と市民、学校などが一体となって環境学習・体験活動に取り組むことができます。

『がっこう』といつても校舎や校庭があるわけではありません。登録された水辺やその周辺環境などすべてが教室となり、机の上では習えないことをそのままの通り楽しみながら学ぶことを目的としています。多摩川では現在十九ヶ所（準備中含む）の水辺の学校が活発に活動しており、それぞれのフィールドを活かして様々な授業が行われています。

川崎市内では「かわさき水辺の楽校（多摩区）」と「とどろき水辺の楽校（中原区）」の二校が登録されています。これらに実際に参加して、平成十四年から活動を進めています。これらに実際に参加してみてはいかがでしょうか。

夏のころは小さな体で大きな群れをつくるのですが、には釣りの対象になるような体になり、やがて秋を迎えるころには立派なてんぶらサイズになります。釣り方は「カレイやミニマスを小さな針につけ、やや重めのおもりで底近くをねらい、手元にぐぐっとたらすばやく引き上げます。食いが立つているときには数十匹も釣り上げる」とも。東京湾のハゼといえば「江戸前のハゼ」として、古くから定評があります。一時は水質の悪化で敬遠されていました多摩川河口のハゼですが、最近ではすいぶんとハゼ釣りファンも増えているようです。さて、その



千潟のゆかいな仲間たち
第10回 マハゼ
文 佐川麻理子
ハゼ釣りと言えばこの「マハゼ」を指すように最もポピュラーハゼ。初夏のころは小さな体で大きな群れをつくるのですが、には釣りの対象になるような体になり、やがて秋を迎えるころには立派なてんぶらサイズになります。釣り方は「カレイやミニマスを小さな針につけ、やや重めのおもりで底近くをねらい、手元にぐぐっとたらすばやく引き上げます。食いが立つているときには数十匹も釣り上げる」とも。東京湾のハゼといえば「江戸前のハゼ」として、古くから定評があります。一時は水質の悪化で敬遠されていました多摩川河口のハゼですが、最近ではすいぶんとハゼ釣りファンも増えているようです。さて、その

暮らしどりですが、多くのハゼの仲間がそうであるように、このマハゼも穴掘り名人。大きな口を使って水底に深い穴を掘り巣をつくります。春のころで産卵し、やがて親たちは死んでしまいますが、生まれた稚魚たちは夏にむけてどんどん成長し、秋になると深場に向かい春に浅場で産卵します。その寿命はわずか一～二年ですが、河口や内湾では欠かすことのできない大切な魚といえます。

★多摩川の航空写真設置

多摩川流域の航空写真が一階河川情報室の展示に加わりました。壁面に設置された地図は、縦一・八m、横三mの大きさで、日野市の浅川合流点から河口までの写真を一万二千分の一に縮尺したものです。これをみると、いかに多摩川流域の都市化が進んでいるかが一目瞭然です。みなさんも自分の家がどこにあるか探してみてはいかがでしょう。

★第34回多摩川流域セミナー

第34回多摩川流域セミナー「多摩川の堤防 今・昔」が開催されます。平成十三年に多摩川水系河川整備計画が策定されてから十年を迎

るにあたり、今年度の多摩川流域セミナーは「多摩川の川づくり総点検」をテーマとし、治水・利水・環境を取りあげ、この十年を振り返り、多摩川のより良い未来を考えます。その第一弾である今回は、かつての名残をとどめる上平間の有吉堤や羽田の旧レンガ堤、整備された上丸子地区のスーパー堤防などを見学し、ディスカッションを行います。

○日時／6月19日（土）13時～17時

○集合場所／JR南武線平間駅

○参加費／200円（保険料など）

○コース（予定）／平間駅～有吉堤～上丸子スーパー堤防～旧レンガ堤～川崎市役所第四庁舎 ※有吉堤からはバス移動となります。

○定員／50名 ※要申込

○持ち物／飲物、雨具、タオルなど

○主催／多摩川流域懇談会

○問い合わせ・申込先／NPO法人多摩川工芸// ニージアム

☎ 044（922）10205

メール npo@seseragikan.com

千鶴館広報

6月は環境月間です

●川にゴミをするのはやめよう。
●川の水を汚さないために、生活排水を減らしましょう。

5月8日（土）	工コクラフト教室
工コな材料で五月飾りをつくるう！	場所／千鶴館 時間／開館中
5月22日（土）	千鶴観察会
何種類の生きものがみつかるかな。	場所／千鶴館 時間／10時～12時
6月12日（土）	工コクラフト教室
場所／千鶴館 時間／開館中	6月26日（土） 千鶴観察会
場所／千鶴館 時間／10時～12時	※工コクラフト教室は参加費無料。
※千鶴観察会の参加費（保険代金	）は、大人200円、中学生以下
100円です。各回定員25名となっ	ていますので、参加希望の方は事前
て止したり、内容・時間を変更する」とがあります。	にお申し込みが必要となります。
※千鶴に下りる場合は、サンダル・	※千鶴は禁止です。長靴や汚れてもいい靴をご用意下さい。
○問い合わせ・申込先	※イベントは天候や諸事情により中止したり、内容・時間を変更することがあります。

大師河原千鶴館イベント情報



ひがた
太師河原王湯館（太師河原水陸センター）

大師河原干渴館は、多摩川の自然や地域の歴史、河川防災などについての情報発信・環境学習の市民活動拠点です。多摩川初の河川防災基地・大師河原地区河川防災ステーション内にある大師河原水陸センターの一部を利用し、市民グループで構成する運営委員会が管理・運営を行っています。

- ◆開館日／水・土・日・祝日 10:00～16:00
 - ◆アクセス／京浜急行大師線「東門前駅」下車、徒歩7分
〒210-0811 川崎市川崎区大師河原1-1-15

※駐車場はございませんので、来館には公共交通機関をご利用下さい

◆お問い合わせ（水：土：日：祝）／太師河原干潟館

Tel : 044-287-7882 Fax : 044-287-7883

◆お問い合わせ（平日）／川崎市建設総務局総務部多摩川施設推進課

Tel : 044-200-2268 Fax : 044-200-7703 Email : 53tamatsu@city.kawasaki.jp

入館無料

生きものカードプレゼント由

